

ずいひつ No.90

2013年9月25日発行

～平成25年度日本薬学図書館協議会研究集会 事例報告～

本日の内容

- ・愛知学院大学の紹介
愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センターの紹介
- ・レファレンス事例紹介
当センターホームページレファレンス回答集ページの紹介
- ・レファレンス協同データベースの活用
レファレンス協同データベース参加のきっかけ
- ・レファレンス協同データベース登録までの流れ
レファ協企画協力員賞受賞

2013年8月9日(金) 平成25年度 日本薬学図書館協議会(薬図協) 研究集会の中で行われた、各機関が取り組んでいる事例報告会へ委託スタッフ三人が参加しました。今年度のテーマは「医薬従事者の期待に応えるために—薬学図書館の情報の共有と提供を考える—」です。私たちは、「当館のレファレンス事例とレファレンス共同データベース活用法」について報告をしました。

当センターでは、レファレンス協同データベース事業「レファ協」へ参加しレファレンスの事例を登録しています。HP トップ画面“学習支援”のタグからレファレンス回答集を選択すると、今まで受付をした内容を見る事ができます。ぜひ一度ご覧下さい。

その日、私たちが最初の発表者でしたがなんと！マイクが通らないというアクシデントに見舞われました。さらに、スクリーンが下りなくなってしまうなどの予想外な出来事が多発してしまい…。結局、30分時間を押ししてしまいましたが無事に発表を終えることができました。本当にこの世の中、何が起るか分からないものですね。



～インターンシップ生より 図書館業務体験を経て～

毎年、夏休みになるとインターンシップ生が図書館へやってきます。ここ数年は女子生徒ばかりでしたが、今年は珍しく男子3人と女子1人の合計4人でした。学生生活を送るうえで欠かせない図書館ですが、利用者ではなく図書館スタッフとして業務体験をした4人の率直な意見や感想などの一部を紹介します。

・どういった本が面白いかわからない時に紹介文のある軽読書コーナーやコンセプトコーナーがあるのでわかりやすい。

・出入りに学生証が必要無いため学生さんが気軽に利用しやすいなと感じた。

・カウンター業務などで貴重な経験をした。

・今後もこちらの図書館を利用させていただきたい。

小さい頃から図書館に行く機会があったが、図書館業務の詳しい内容を知る機会にはなかった。しかし、今回インターンシップで開館業務など日頃は出来ない貴重な体験をした。

図書館業務というとカウンターで貸出・返却の業務や本の整理といった仕事のイメージが強かった。しかし、他にもいろいろな業務があり、大変だけれどやりがいを感じた。

(図書館 夏の活動者 M子)